



石ノ森章太郎が描いた漫画から飛び出したモニュメントが石巻駅前や商店街で観光客を歓迎する石巻。サイボーグ009や仮面ライダーなど、世界を救うヒーローたちが身近な場所で活躍する姿を楽しめます。今回は、そんな漫画のまちに広がる漫画文化をご紹介します。人を魅了する漫画やアニメが与えてくれる想像力を創造する力、に変えて活動するのが石巻専修大学の漫画研究会(漫研)の皆さんです。今回は、んだっちゃ!創刊以来初の試みとして研究会の皆さんが自分をイメージした作品でも登場してくれました。

取り出したスケッチブックに思いのままのキャラクターを描き生み出す部員たち。線を重ねて曲線を作り、顔の表情から指先までを繊細に表現していく。4年間の学生生活を、より充実したものにしてくれるのがサークル活動や時間を共に過ごす友人の存在。話が弾む仲間との活動を求めて入部を決めた部員も多く浅野祐豪さん(20)は「漫画が好きだし面白そうだったので入部した。同じ趣味の人が集まっているので、話をすると面白い」と話し、相川蘭さん(18)は「イラストを描いたり漫画を見る事が好きで、学年や年の差を問わず、仲良くしてくれる」と活動を楽しんでいる。

趣味が同じ仲間との会話は創作意欲の向上にもつながる。渡邊翔さん(19)は「絵を描くのが好きなのと、漫画が好きで入部した。皆で好きなアニメについて話せるのが楽しい」、渡邊ゆきのさん(20)は「幼い頃からアニメや漫画が好きだったので、みんなとアニメの話ができる」と趣味が合う仲間との活

な知識を学んでいきたい」と漫画の魅力を感じている。



動の魅力を活す。一緒に話れる人との機会を求めて入部した佐々木凌さん(19)も「皆で、毎週絵を描いて、なんやかんや言いながら描くことが楽しい」と魅力を語る。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、現在、漫研ではオンラインを活用した活動が中心となっている。江口標さん(18)は活動を案内するパンフレットで漫研を見つけて「これだ」と思い、入部。「ZOOMを使って絵を描いている。大学のサークルを体験したい人にもおすすめ」と呼びかける。

SNSでの情報収集や発信が盛んな昨今はツイッターなどでイラストを発表する人も多い。作品の構図や下書き、色を塗る作業などを1時間(ワンア

会話が弾むリモート活動

現在、部員たちが集う場所は、主にリモートになっているが、そこで会話や共通の話題を楽しみながら制作に励んでいる。平田智士さん(20)は「代表が同級生だったので、漫研の活動に興味を持った。リモートで集まって好きなアニメ・漫画について飲談したり、絵を描き皆で見せ合っている」と部員が集うオンラインの場での活動を楽しんでいる。

副代表の後藤希さん(21)は「ZOOMやLINEのグループ通話を活用しながら部員同士で会話をしたり、個人ではアナログ・デジタルを問わず、描いている」と語る一方で、直接、顔が見えないオンライン中心の活動には大変さも感じている。

小林俊介さん(18)は「高校生の頃から『銀の匙』や『コウノドリ』を読んでいて、もっと漫画を読みたいと思い所属した。もっと幅広い分野の漫画を読んできた」と語り、部員たちと漫画トークで盛り上がっている。さらに「まだ自分が知らない漫画をもっと読んで、そこから色々

興味があつた知識を得る場

代表で休部状態だった漫研を再開させた、代表の菊地菜月さん(21)は「サークル名の通り、部員皆が、好きなものを共有することで、新しいことを知るきっかけが得られる」と活動を紹介。「研究会という名前なので堅いイメージがあるかもしれませんが、すごくのんびり活動しているので、興味があれば、参加を待っています」と同大学の学生に呼びかけている。

多くの人の心を躍らせ、元氣や活力を与えてくれる漫画。作

代表

菊地 菜月さん(21)

漫画やアニメが好きで入学時、気になっていた漫画研究会に入りたいと思っていましたが、休部状態で、部員を集めて活動を再開させました。情報を共有したり好きな話で盛り上がり、漫研に興味がある専修大学の学生がいたら、ぜひ、ご連絡ください。



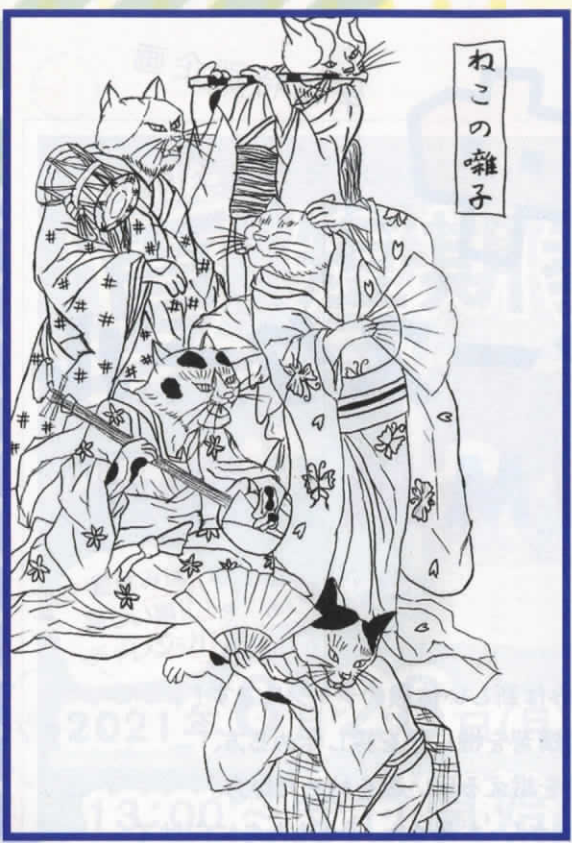
副代表

後藤 希さん(21)

共通の趣味の友人と話をしたり、その中で、発見や楽しみを見つけれられるのが活動の魅力です。自分の特技や趣味を漫研の活動を通して、人の役に立ったり、将来的には就職活動や仕事の中で役に立つ機会があれば良いと思っています。



石巻専修大学漫画研究会の作品は
オフィシャルツイッターアカウントにも
投稿されている。活動の様子もチェック!



ワーで描く(ドローイング)ことを「ワンドロ」と呼ぶ。ツイッターには「#ワンドロ」でたくさん作品が投稿されているが、部員たちもこの「お絵かき60分1本勝負」で腕を磨いている。ワンドロで画力向上を目指す阿部愛海さん(19)は「先輩も先輩も優しく、ユタフに寛容な部

活。人間性が素敵なのがたくさぬいる」と感じている。描くことが好きで所属を決めた小川結実さん(18)は「週に1度オンラインでワンドロを行っている。和気あいあいと楽しく語れる場なのでアニメや漫画、ゲーム好きも歓迎」と同大生に入部を呼びかけている。